

小児看護学実習 I 評価表

実習期間 平成 年 月 日～ 月 日 学籍番号 氏名

評価項目	自己評価	教員評価
1. 小児をありのままに理解できる。		
1) 健康な小児の成長・発達、発達課題、個人差について説明できる。	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1
2) 小児の言動をありのままに捉え、記述できる。	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1
3) 小児の言動を成長・発達段階、発達課題、個人差の視点に沿って分析・解釈できる。	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1
4) 小児の言動を小児同士の関係および関係形成、社会性の発達の視点に沿って分析・解釈できる。	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1
2. 小児における家族・大人の役割・機能について理解できる。		
1) 小児をとりまく家族・大人・社会の役割・機能について説明できる。	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1
2) 小児の言動を小児と大人との関係および関係形成の視点に沿って分析・解釈できる。	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1
3. 小児の成長・発達段階、発達課題に応じた日常生活援助技術を習得できる。		
1) 小児の日常生活支援に参加できる。 (食事 睡眠 排泄 清潔 遊び 衣服の着脱など)	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1
2) 小児の成長・発達段階に応じたコミュニケーションを図ることができる。	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1
4. 看護学生として責任ある倫理的行動がとれる。		
1) 看護学生の倫理行動基準に従った行動がとれる。	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1
2) 自己の考えを論理的に分かりやすく述べられる。	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1
3) 自己の看護・行動を振り返り、評価できる。	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1
4) 自己の課題、今後の目標を明確にできる。	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1

<p>〈評価基準〉</p> <p>5：助言・援助を受け、良く達成できている。</p> <p>4：助言・援助を受け、ほぼ達成できている。</p> <p>3：助言・援助を受け、部分的に達成できている。</p> <p>2：助言・援助を受けても、達成が不十分である。</p> <p>1：助言・援助を受けても、達成できていない。</p>

優	48～60
良	42～47
可	36～41
不可	35 以下

総合評価

<p>〈出席状況〉</p> <p>欠席： 日</p> <p>遅刻： 時間</p> <p>早退： 時間</p>
--

<p>〈教員からのコメント〉</p>

評価者